

南葛西中学校 学校だより

輝き



令和7度 第12号

<令和8年3月25日発行>

江戸川区立南葛西中学校

校長 日野 志磨子

第46回卒業式

3月19日(木)第46回卒業式が行われ、175名の生徒が南葛西中学校を巣立っていきました。在校生、来賓の方々、大勢の保護者の皆さまに見守られ、卒業証書を胸に新たな道に進んでいきました。3年生に向けて贈りました式辞の一部を1、2年生にも紹介いたします。

「皆さんは「恩送り」という言葉を聞いたことがありますか。「恩返し」という言葉は小さな頃から昔話などで耳にしていると思いますが、「恩送り」という言葉は初めて耳にしたという人が多いかもしれません。

「恩返し」は基本的に、恩をくださった方にお返しする「一対一」のやり取りです。それに対して、「恩送り」は、ある人が受けた一つの恩に対する喜びや感謝の気持ちを、直接その人に返すのではなく、別の人に送っていくことであり、その相手の数は無限です。つまり「一対多」のやり取りとなるのです。皆さん一人ひとりからの「恩送り」を受けた相手が、同じように何人もの人々に「恩送り」をしたら、その暖かな心は、木々が枝分かれするように、次々と無限の広がりを見せていくことになります。そして、その一つの優しさが、今の世界を少しずつ変えていく一歩になるかもしれません。」

さて、南葛西中学校を引き継いでいく1、2年生も新年度「喜びや感謝の気持ちを広げていく恩送り」の思いをもって南葛西中での新しい年度を迎えてほしいと思います。卒業生の未来が幸多きことを願って今年度を締めくくります。

校長 日野 志磨子

ご連絡

英語科2年副担任の齋藤未来教諭が体調不良のため3月9日(月)～4月4日(金)までお休みしております。3学期末、齋藤教諭が休みの期間、1・2年生の英語の授業は少人数クラスではなくそれぞれのクラスで授業を行わせていただきました。

また、本人の体調の回復状況によって4月当初も少人数授業を行えない可能性が出てきます。その際はまた、「学校だより」「tetoru」等でお知らせいたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

校長 日野 志磨子



～ 卒業式（別れの言葉） ～

日差しが一日ごとに暖かさを増し、校庭の桜も色づき始める季節となりました。本日は私たちのために、このような素晴らしい卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。日野校長先生をはじめとする先生方やご来賓の皆様、保護者の皆様に、卒業生一同、厚く御礼申し上げます。私たち卒業生は、これまでの三年間を振り返りながら、感謝とともにこの卒業の日を迎えています。

三年前の入学式。当時の私たちには少し大きい制服に身を包み、不安と中学校生活に対する様々な期待を背負いながら、私たちは南葛西中学校へと入学しました。新たな環境に慣れるのは時間が掛かりましたが、周りにいる仲間たちとの友情や、先生方の手厚いご指導などの支えによって、充実した中学校生活を送ることができました。

新たな経験と、発見に溢れていた一年生が終わり、二年生へと進級しました。後輩が入学し、先輩という立場になったことで、責任感が生まれました。そして、三年生となり、受験を控えたことで、張り詰めた空気が漂う中、将来に向き合い始めるようになりました。そんな中でも、最後の運動会や合唱コンクールは、悔いのないように、優勝を目指して、全員が精一杯頑張りました。今、こうして振り返ると、かけがえのない大切な思い出の数々が蘇ってきます。

そして今日、私たちは、南中を卒業します。校外学習で学んだ計画力や林間学校で学んだ協調性、運動会で学んだ団結力、また、日々を過ごしていく中での助け合いなど、この三年間で学んだたくさんのことを胸に、それぞれの道へと歩み出します。

この三年間、私達に温かく、時には厳しくご指導くださった先生方、本当にお世話になりました。入学したての頃の私達は、まだ考え方も行動も幼く、叱られることもありました。しかし、粘り強く私達を導いてくださった先生方のおかげで、まっすぐと成長することができました。いついかなる時でも、味方でいてくださり、相談事は親身にきいてくださいました。先生方の変わらぬ温かい眼差しが、私達の大きな安心となっていました。

栄養豊富で美味しい給食を考えてくださった栄養士さん、給食室の皆様、廊下や校庭などの掃除を通して、学校を快適に過ごせる環境をつくってくださった主事の皆様、私達の気づかぬところで支えてくださった事務の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、ここまで私達を、一番側で支えてくださった保護者の皆様。三年間沢山迷惑や心配をかけたと思います。それでも笑顔で、背中を押してくれました。これからは、より成長した姿を示し、少しずつ恩返しをしていきます。これからも私達を見守っていただければ幸いです。

そして、三年前、一緒に南中へと入学した皆へ。この三年間いろいろなことがありました。一緒に目標へと頑張ったこと、思うように結果が出ずに、悔しくて泣いたこと、それでもめげずに前に進んだこと、全部、大切な思い出です。大好きな仲間と、この場所で、共に成長できて本当に幸せでした。これからは変わらない活躍を心から祈っています。今まで本当にありがとうございました。また会う日には、それぞれの夢を叶えて、笑顔で会いましょう。

最後になりましたが、本日ここに巣立つ私達は、今まで教えていただいたことを胸に、新たな一步を踏み出します。今まで支えてくださったすべての方々に感謝すると共に、皆様のご健勝とご多幸を、そして私達の母校である南中の更なる飛翔をお祈りし、別れの言葉といたします。



令和八年三月十九日
卒業生代表 長谷川 花蓮